



エネルギー起源CO2排出削減技術評価・検証事業のうち 低炭素型街づくりにおける温泉熱等活用評価事業

2019年度予算（案）
50百万円（70百万円）

自然環境局
温泉地保護利用推進室

事業概要

背景・目的

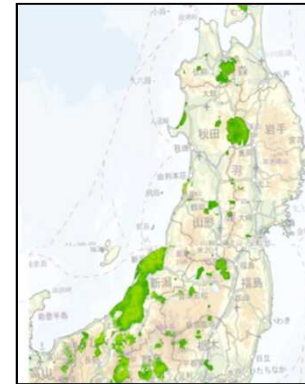
- 温泉は地域固有の熱源。その利用可能性は高い。
- 地熱発電では約2,500万kWと推定、温泉井戸は24,000本以上あり、多大なポテンシャルが存在。

事業概要・スキーム

- 温泉の熱利用等を通じた地域活性化策の検討等
- 委託対象：民間団体
- 実施期間：5年間（平成29年度～33年度（2021年度））

期待される効果

- 温泉熱の多段階利用における低炭素化の推進
- 温泉熱を活かした地域活性化による温泉熱利用への理解促進
- 地域の合意形成等が進むことによる、適正な地熱開発の推進



50℃以上の温泉（一部）
（H25環境省調べ）



温度・量に応じた利用が可能

イメージ

